

## トライボロジー会議 2014 秋 盛岡 特別講演会

日 時：2014年11月6日(木) 15:00～16:30

会 場：アイーナ 岩手県民情報交流センター アイーナホール

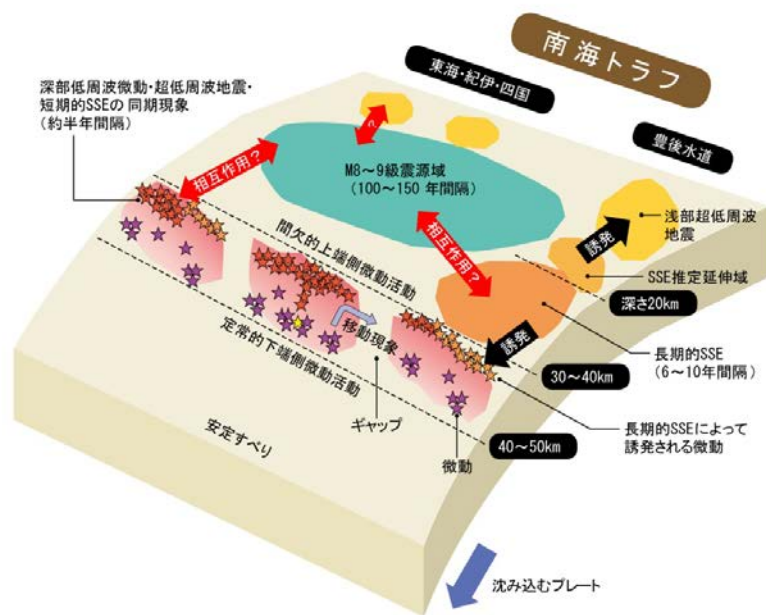
定 員：500名（一般の方も参加可能です）

参加費：無料

講演題目：地震現象の多様性 ～スロー地震と巨大地震～

講 師：小原一成 氏（東京大学 地震研究所 観測開発基盤センター 教授）

要 旨：地震は、ダイナミックレンジの非常に広い現象であり、我々が体感できないほど小さなマグニチュード（M）1程度の地震と東北地方太平洋沖地震（M9）のような超巨大地震とでは、エネルギーにして3000億倍の違いがあります。一方、最近の地震・地殻変動観測網の整備により、スロー地震と呼ばれるスペクトル特性の異なる地震現象の存在が明らかになってきました。特に、西南日本では約100～150年間隔で沈み込むフィリピン海プレートの境界面上で巨大地震が発生することが知られていますが、その震源域をいくつかタイプの異なるスロー地震が取り巻いています。スロー地震は地球潮汐などによる僅かな応力変化の影響を受けることから、スロー地震が巨大地震発生前の応力状態の変化を表わすインディケータになる可能性があります。一方、2011年3月に発生した東北地方太平洋沖地震の震源域周辺では、それまでスロー地震の存在は明らかではありませんでした。本震発生1か月前と2日前の前震活動がいずれもスロー地震によるもので、そのすべりが本震の破壊開始点に向かって伝わったことが明らかにされました。もし、震源域のひずみ蓄積が限界に近い状態になっていたとすると、スロー地震の伝播によって本震開始点に力が加わり、それが最後の引き金とも考えられます。以上のように、スロー地震は巨大地震の発生に大きく関わっている可能性があり、スロー地震等の地下で生じる様々な現象を注意深くモニタリングすることは大変重要です。



お申し込み：申込は不要です。直接会場にお越し下さい。

お問い合わせ先

内 舘 道 正

〒020-8551 岩手県盛岡市上田4-3-5

岩手大学工学部

TEL: 019-621-6417, E-mail: uchidate@iwate-u.ac.jp